

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード 080200 TEL 2991-1812						
事業コード 080210	精神障害者家族等緊急一時保護事業		担当部課 健康管理課					
開始年度 平成 23 年度 → 終了年度 平成 年度		グループ ころの健康支援室・支援グループ						
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加						
	分野別計画・指針	根拠法令						
	関連・類似事業	所沢市ドメスティック・バイオレンス被害者等緊急一時保護事業						
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針 生涯を通じた健康づくりを推進します				
事業開始の背景	精神障害者で通院・服薬により病状安定を図る必要がある者が、服薬を滞り体調悪化した場合、自傷他害の恐れがあれば知事権限で措置入院となる。 しかし、入院に至らぬものの、同居家族等に対して危険な行動をとる恐れがある場合に、家族の安全を確保するための制度が無い場合、家族が公園で一夜を明かすといった事例が発生した。 緊急事態における制度の隙間を埋め、家族の一時保護に対応するため事業を開始した。							
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	精神障害者の暴力等により当該精神障害者の家族等の身体に危険が及ぶおそれがある場合に、緊急一時保護を実施することにより、その身体の安全を確保し、その後の自立促進を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 24 年度 1,977 人 平成 25 年度 2,151 人				
④経費	事業の具体的な内容及び実施方法							
	【対象要件】 市内に居住する精神障害者の家族等で、以下の要件のいずれも該当する方 ●避難するための金銭が極めて少なく、近親者等からの金銭的援助を得られない等避難費用に困窮している。 ●公共的な施設等において一時保護を受けることができず、当該精神障害者の処遇について、精神科医療機関または相談支援機関と相談関係を継続している 【保護内容】 緊急事態を回避するために必要な宿泊施設の利用費用や生活費を支給する。 ①宿泊費 1人当たり1泊7,000円以内とし、3泊を限度 ②食費その他応急的な生活費 1人当たり1日1,500円以内とし、3日を限度							
④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)			
	当初予算		77	77	77			
	決算(見込み含む)		0	0				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について 平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	0.39 人	3,456	0.34 人	3,022			
	事業費合計		3,456	3,022	3,022			
財源内訳	一般財源	3,456	3,022	77				
	国・県支出金	0	0	0				
	その他()	0	0	0				
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 24	H 25	H26見込み	将来目標	
	活動実績	助成件数(宿泊費)	延べ泊数	件	0	0	3	3
		生活扶助	延べ件数	件	0	0	3	3
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 24	H 25	H26目標値	将来目標	
	成果指標	申請件数	申請件数	件	目標値	3	3	3
					実績	0	0	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	*****	*****	↑どちらかをチェックしてください	
⑦改善点	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)							
	家族会や医療機関等に対し制度の周知を行う。また相談業務において家族の状況を丁寧に把握するように心掛けた。							
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	相談の中で当事業の利用について検討をしたケースが数件存在した。実際の利用には至らなかったが家族にとって心強い支援であるため現状維持が望ましい。		
		次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	当事業は家族に避難をする必要があり、やむを得ない事例に対して行うものであり緊急事態において適用されるため、現状維持が望ましい。		
⑧評価	今年度の状況と今後の方向性							
	制度開始から現在まで利用実績はないが利用を検討するような事案は数件存在した。本事業は精神障害者家族の安全を確保するために必要な事業である。今後も相談等から本事業が適用となる事例を把握すること及び、対象事例が出現した際には迅速かつ適正に事業を実施していく。							
評価日	H26.8.12	評価者職氏名	健康管理課 瀬能 幸則					
⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成		規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	